



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	相良, 武彦; 高山, 佳洋; 山口, 浩明 他
Citation	makoto. 2012, 157, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85702
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



財団法人 大阪防疫協会

理事長 相 良 武 彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はなにかとお力添えを頂き有り難う御座いました。

本年も変わらず御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

まず始めに、昨年、東日本大震災、台風12号に被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り致します。

さて、当協会は戦後まもなく、劣悪な衛生状態のもと、発疹チフスが大流行していた頃、これが対策にあたる行政諸官庁に協力するため、大阪府議会議長始め幾多の要職を歴任した吉津度が、各界錚々たる諸氏を糾合して、任意団体大阪防疫協会として、昭和22年5月15日に発足致しました。

同24年11月18日、大阪府の指導により吉津度を初代理事長として財団法人に組織変更し、以来62年を経て今日に至っています。

その間、財政基盤が不安であった当初から営々辛苦し協会の基礎固めをしたのが2代目理事長の辻野直三郎です。

その後、3代目辻野守典の頃までは、高度経済成長と相俟って協会事業も順調に拡大発展しましたが、4代目澤田重樹が就任する頃には経済情勢の悪化又は規制緩和による競争の激化により、協会をとりまく事業環境は非常に厳しくなりました。そして、その厳しさが増すなか、私、相良武彦が5代目を引き継ぎました。

以来6年有余、年々、経費削減に努め、ようよう収支均衡の目処が見えてきたところではありますが、さらに加えて、発足以来の大変革とも言うべき、公益法人制度改革に基づく移行課題に取り組まねばなりません。そのため、今後の安定運営の必要上、さらに大胆な削減策が求められています。

その移行も始まって最早3年が経過し、25年11月30日まで、2年を切るまでに迫っています。

当協会も一般財団法人への移行を決定し、どうにか、事前審査の段階にまで漕ぎ着けました。この上は速やかに受理、認可が下りることを希うものです。

幸いにして、当協会が一般財団法人に移行完了しましたとして、めざすところは、人々の健康で快適な暮らしに奉仕する、公益法人設立当初の目的の実現に他なりません。

従いまして、伝統ある、まことの精神を堅持して、これからも公益活動を継続してまいりますので、どうか倍旧のご支援賜らんことをお願い致します。

今年が皆様方にとりましてより良い年になりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ



大阪府健康医療部長

高山 佳洋

新年あけましておめでとうございます。

財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げますとともに、日頃から本府の健康医療行政に対して格別のご支援、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、3月に発生した東日本大震災とそれに伴う原子力発電所の事故など、まさに国難ともいえる事象が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。

府健康医療部では震災直後から医師や保健師など延べ370名を超える職員を派遣し、避難所や仮設住宅における巡回医療・健康相談、放射線調査などを行いました。

また、被災地では、上気道炎・インフルエンザ・水痘などの感染症の発生があり、その対策として、室内換気、マスクの着用やうがい、手指消毒の励行など感染症予防の指導を行いました。

幸いにも府職員が派遣された地域では、散発的な感染症発生例しか見られませんでした。心配していたとおり夏の一時期にハエ・蚊等が大量発生するなど衛生環境が悪化し、感染爆発が懸念されたところです。公衆衛生に関わる誰もが、防疫（感染症の予防）の重要性を再認識したことと存じます。

貴協会におかれましては、国有ワクチンの供給など本府と密接に連携していただいているところでありますが、今後ご支援・ご協力を賜りますとともに、ハエ・蚊等の衛生害虫対策や、消毒等の公衆衛生における豊富なノウハウと高度な技術をいかに発揮されることを大いに期待申し上げます。

結びに貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りいたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



大阪市健康福祉局
健康推進部長

山口 浩明

あけましておめでとうございます。

財団法人大阪防疫協会の皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、本市の健康福祉行政をはじめ市政の各般にわたり格段のご理解、ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年3月11日に発生しました東日本大震災は過去に類を見ない規模の地震であり、想定を大きく超える津波の影響もあり、多くの貴い命が失われました。心から哀悼の意を表しますとともに今なお不自由な避難生活を余儀なくされている方々には心からお見舞い申し上げます。被災地においては未曾有の甚大な被害により、がれき処理や放射能汚染、仮設住宅など今なお多くの課題が山積しており、本市では一日も早い復興のため国や各自治体との連携を図りながら被災地支援に全力で取り組んでおります。

しかしながら、震災後も日本各地で大きな地震が続いており、専門家によると近い将来東南海地震が起こるともいわれています。本市におきましても昨年8月には集中豪雨による大規模な浸水被害が起きるなど自然災害はいつ発生するかわからないため、平時から十分な対策を講じておくことが重要であるとともに、災害発生時には市民の生活や財産を守るため行政の力だけでなく地域のつながりや支えあいがより大きな力を発揮することを改めて認識いたしました。

さらにはここ数年地球規模での気候変動が招いた平均気温の上昇によるマラリアやデング熱など蚊媒介性感染症の流行地域の拡大や、新型インフルエンザをはじめとする新興感染症の世界的な流行などが危惧されています。

このような中において、防疫業務は市民の安心・安全を守るためにはなくてはならないものであります。

貴協会の皆様方におかれましては、永年にわたり培ってこられたネズミ、衛生害虫の防除・防疫対策や建築物の衛生管理に関する豊富な知識と経験、高度な技術を生かされ、今後とも快適な生活環境の推進にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市健康福祉局
健康部長

坂 口 廣 志

新年あけましておめでとうございます。

財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに平成24年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年3月11日に太平洋三陸沖を震源とした東日本大震災が発生し、多くの生命が失われ、今なお仮設住宅などで多く被災者の方が慣れない生活を余儀なくされています。国をはじめ各自治体、各種団体、ボランティアなどによる様々な支援活動が行われていますが、未だ福島原発等多数の問題を抱え復興にはかなりの時間を要する状況にあるようです。

一方、本市では、このような不測の事態に備え、改めて防災計画の見直し等危機管理の強化に取り組むとともに、保健衛生分野においては、本市域に重篤な救急患者を受け入れる救命救急センターが設置されていないことから、平成26年度内に第三次救急・第二次救急が一体となった高度・専門医療を提供できる新病院・救命救急センターの完成を目指しているところです。

このように本市では、市民の健康と安全・安心を確保するという自治体の基本責務を果たすため、常に危機管理の意識をもって対策を講じてまいる所存です。貴協会におかれましては、本市のめざす「健康都市・堺」の実現に向けその豊富な知識、経験、高度な技術をご教示いただき、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と皆様方のご活躍とご健勝、そして、本年が皆様にとりまして健康で幸多い一年となりますことを心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市健康福祉局
健康部長

中 谷 恭 子

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様方には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進につきまして格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、3月の東日本大震災、9月の台風12号及び15号の大災害によって、多くの尊い命が失われました。改めまして、犠牲となられた方々のご冥福と被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、わが国戦後最大の困難な事態に直面したと言える東日本大震災は、さまざまな被害をもたらしました。特に、原子力発電所の事故は、放射性物質の汚染による居住制限や水資源、農林水産業への影響、電力不足による生活や産業への影響など被災地域に限らず、広域にわたり国民生活に支障をきたしており、現在も国をあげて、その対応に取り組んでいるところです。

本市でも、今回の震災を教訓に、災害に強い安全で安心なまちづくりをさらに進め、ソフト・ハード両面の防災体制の充実・強化を図りながら、東南海・南海地震など大規模災害にも備えなければなりません。

災害時における飲料水の応急給水や生活用水の確保、遺体や廃棄物の処理、衛生害虫の発生、避難所での健康管理、衛生指導などといった健康・環境衛生面にかかる救援・防疫活動について、迅速かつ的確に対処できるよう、危機管理体制の再点検を行うとともに、関係機関との連携の強化を図ってまいりたいと考えています。

今後とも、市民の安全・健康の確保を図り、「夢と活力あふれる元気都市」の実現を目指し、健康・医療・福祉の分野での施策の充実に取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた公衆衛生における豊富な知識と経験、高度な技術を遺憾なく発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



高槻市保健福祉部長

三宅清道

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災の発生や台風12号の影響により、国内に甚大な被害がもたらされた一年となりました。これらの災害により亡くなられた方々に対しまして、心よりお悔やみ申し上げますとともに、避難所などで不自由な生活を送っておられる被災者の方々におかれましては、一日も早い復旧・復興を願っております。

東日本大震災では、家屋や車が津波に押し流されるなど、非常に大きな被害の爪あとが残りましたが、とりわけ、衛生面においては、避難所での仮設トイレやゴミ置き場などに大量のハエや蚊が発生しました。これらは、感染症及び悪臭問題の両面から、避難生活に大きな影響を与えることとなり、有事における防疫活動や衛生管理の重要性について再認識したところでございます。

このような状況の下、私共といたしましては、貴協会の皆様方が、永年培ってこられた防疫や環境衛生対策などに関する豊富な知識と高度な技術がこれらの備えになるものと大きな期待を寄せております。

また、本市におきましても、この未曾有の東日本大震災を教訓として、地域防災計画の検証を行うとともに、相互支援の強化を図るため、新たな災害時相互応援協定の締結の検討などの災害時の対応に努めているところでございます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしますとともに、引き続き、本市の保健衛生行政の推進にご支援ご協力をお願い申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



一般財団法人
阪大微生物病研究会

理事長 東 雍

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。旧年中は、当財団のワクチン事業に対しまして、格別のご理解とご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災により被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日でも早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

このたびの震災に見舞われた被災地では、感染症対策においても非常体制が求められました。がれきの撤去作業等に伴う創傷を原因とした破傷風や肺炎患者が増加し、避難所では、インフルエンザ、食中毒等の集団感染も発生しました。深い悲しみと混乱の中、多くの方々が、自身の力でこの危地を乗り越えなければなりません。まさに、国民一人一人の公衆衛生に対する理解と行動が問われました。

今回の経験から、常日頃の公衆衛生への備え、とくに感染症の予防が、我が国の危機管理のひとつとして非常に重要であると改めて感じております。

私ども微研財団では、発生予測不能な新型インフルエンザの流行に備え、より迅速な供給体制を整えるべく細胞培養法によるインフルエンザワクチンの開発を行っております。これに伴い、昨年細胞培養ワクチン研究用プラントである瀬戸センターが竣工し、稼動に向け準備を進めております。また、社会のニーズに応えるべく、不活化ポリオワクチンをDPTワクチンに組み込んだ四種混合ワクチンの開発を進めております。

さらに、市民公開講座や、ホームページの充実といった啓発活動を通じて、国民全体の公衆衛生に対する知識の向上にも微力ながら貢献したいと考えております。

今年もワクチンの製造、供給を通じて皆様のご要望にお応えできますよう一層努めてまいります。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。